

1 評価報告概要表

<p>優れている点</p> <p>潮風や海の香り、緑に囲まれた住宅地にあるホームです。「日々笑顔をたやすことなく」「個性豊かに」の motto にある言葉のように、職員は入居者の気持ちになって介護にあたっておられます。入居者の表情も明るく、一人ひとりのできる事を楽しみながら、穏やかな日々を送られています。幅広い年齢の職員や男性職員を確保され、入居者のニーズに対応しやすい体制が構築されています。理事長、管理者、職員共に認知症介護の基本を十分に理解し、入居者に優しく、穏やかに接しておられます。</p>
<p>特徴的な取組等</p> <p>夏季の毎夕食後の足浴は、水虫の再発がないなど清潔の保持や安眠だけにとどまらず、入居者と職員のスキンシップやコミュニケーションの場となっています。職場内研修(OJT)や勉強会、外部研修の機会を提供されており、職員は積極的に参加されています。本人及び家族の希望により、終末期を視野に入れて医師と連携を取りながら支援されています。</p>
<p>現状及び改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時や災害時等には地域の協力が必要になります。ホーム主催の夏祭りや敬老会、地域の行事への参加など、地域交流が行われていますが、つながりが弱く、ホームの運営理念や役割が地域に広く理解されるような活動は少ないように感じます。地域に溶け込んだホームとなるように、自治会活動への参加、ホームの地域への開放、地域向けのホーム便りの発行、運営推進会議のメンバーの構成など検討されてはいかがでしょうか。 ・緊急時対応マニュアルは整備されよく勉強会もされていますが、定期的な想定訓練がされていません。緊急時に落ち着いて対応できるように、定期的、日常的な訓練の実施を望みます。 ・入居者本人や家族からの意見、要望の出しやすさを考慮し、さまざまな声を積極的に汲み上げることに取り組む意味でも苦情解決のための第三者委員を選任し、顔の見える委員として周知されるよう望みます。

グループホーム名	グループホーム あじさい室津
訪問調査日	平成19年 6月13日
評価確定日	平成19年 7月31日

分野・領域	項目数	できている項目数
1 事業運営に関する事項		
管理・運営	16	14
職員への教育・研修	2	2
入居者や家族への対応	6	6
入居者の人権の尊重	1	1
2 サービスの提供体制に関する事項		
	7	7
3 サービスの提供内容に関する事項		
入居者の自立に配慮した支援	9	9
入居者の個性に配慮した支援	9	9
入居者の生活の質に配慮した支援	3	3
入居者の人格に配慮した支援	8	8
医学的管理及び健康に配慮した支援	6	6
4 施設環境に関する事項		
	10	10
5 家族との連携に関する事項		
	4	4
6 地域との交流に関する事項		
	4	4

2 評価報告書

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能	改善すべき点等の特記事項
1 事業運営に関する事項						
(1) 管理・運営						
グループホームの意義や役割目標や理念等を明確にしていますか。						
1	1	管理者及び職員はグループホームの意義や役割等について理解している。				毎日の朝礼で話すなどして確認し合っている。管理者、職員共に意義・役割について理解している。
2	2	管理者は、自らの運営するホームについて、その運営理念を明確に表現し、職員と目標を共有している。				運営理念は言語化され、事務室前に掲示し、いつでも確認できるようにしている。毎朝朝礼時に全員で確認して職員と目標を共有している。
3	3	ミーティング等では、グループホームのケアで大切なことや介護の根本的な考え方が常に話題に挙がっており、職員の間で相互に意識啓発している。				職員会議、ケアカンファレンスなどで常に話をし、職員相互で意識啓発している。
4	4	ホームの運営理念や役割が地域に理解されるよう、地域に対する運営理念の啓発・広報に取り組んでいる。(ホームの説明会、ホーム便り等)				運営推進会議を開催している。ホーム主催の夏祭り、敬老会などの行事に、地域住民に声かけをしているが、地域向けの広報活動が不十分である。
入居者の生活の流れに応じた職員配置をしていますか。						
5	5	日中は、入居者一人ひとりの自由や自主性を尊重しつつ、屋外活動も十分行える職員数を確保している。				日中は3～4名体制で、屋外活動に十分対応している。
6	6	夜間は、トイレ誘導や不眠など、必要なケアに対応できる体制をとっている。				夜勤体制1名で対応している。
7	7	職員の勤務の都合ではなく、入居者の生活の流れに応じた職員配置にしている(朝食前や夕食後、土日祝日、病休や急な。休みのときの代替職員の確保)				生活の流れに沿った人員配置にしている。緊急時は勤務交代で対応している。
グループホームにふさわしい職員の質を確保していますか。						
8	9	法人代表者や管理者は、それぞれの権限や責任を踏まえて、サービスの質の向上に向け、職員全員と共に熱意をもって取り組んでいる。				理事長、管理者、職員共にサービスの向上にむけ、熱意をもって取り組んでいる。必要に応じてOJT研修、勉強会をおこなっている。
9	10	介護従事者の採用、運営方法、入居者の受入や入居継続者の可否については、職員の意見を聞いている。				職員の採用、入居者の受け入れや入居継続の可否は、職員の意見を聞いている。

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能	改善すべき点等の特記事項
各種記録を適切に整備し、それらを活用していますか。						
10	13	サービスに関わる必要な書類(業務日誌、介護計画、介護記録、苦情や事故の記録、預かり金の金銭管理簿、その他サービスに関わるもの)を整備し、適切に記録している。				各種書類は整備され、適切に記載されている。
11	14	記録した内容を、日々の介護や介護計画に反映させている。				日々の記録が計画に反映され、ケアに活かしている。1ヶ月に2回ケアカンファレンスを行い評価している。
12	15	重要な事柄は、職員間で確実に共有できるように、記録内容を全員が把握できるような工夫をしている。				業務日誌に記入したり、ボードで伝達するなど工夫している。会議録など確認の捺印がされ、何時でも確認できるように、身近に保管してある。
想定される危険を認識し、その対策を立てていますか。						
13	16	薬や洗剤、刃物等の取扱いに注意が必要な物品については、保管場所、保管方法を明確に取り決め、かつ、そのとおりに実行している。				取り扱いに注意が必要な物品について、取り扱いの取り決めている。台所は夜間施錠し、洗剤は入居者の目に付かないように、カーテンをしている。
14	17	けが、転倒、窒息、意識不明、行方不明等の緊急事態の発生に備えて、具体的な対応策が手順化され、日頃からその訓練をしている。				マニュアルを作成している。火災訓練を併設の施設と共に年2回行っている。資料の配布や勉強会もしているが、定期的な想定訓練をしていない。
15	18	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA等)				マニュアルを作成し、感染予防や対応について話している。インフルエンザの予防注射も全員受けている。
16	19	緊急事態が発生した場合や発生の可能性が見られた時には、事故報告書や“ヒヤリはっと報告書”等をまとめるとともに、発生防止のための改善策を講じている。				報告書に記載し、改善策を講じている。職員会議などでも話し合い、再発防止に努めている。確認のサインもしている。
17	21	休暇を利用した自主的な研修ではなく、勤務の一環としての外部研修の機会を提供している。				勤務の一環として外部研修を行っている。復命書を作成し、報告をしている。
18	22	働く中での悩み、ストレスなどを解消するための配慮や工夫をしている。(職員相互の親睦、悩みの聴取等)				職員の親睦や管理者が悩みを聴取するなど配慮している。

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能	改善すべき点等の特記事項
(3)入居者や家族への対応 入居前の事前説明や入居手続は、適切に行っていますか。						
19	25	入居契約に際しては、重要事項説明書の他に、情報公開項目や自己評価及び第三者評価の結果も合わせて提示し、十分な資料に基づいて説明をしている。				重要事項説明書など、十分な資料で説明している。
20	26	具体的にわかりやすく記載したパンフレットを用いて、契約内容及び利用料金(家賃、食費、光熱水費、その他の実費、敷金設定の場合の償却、返済方法等)について、懇切丁寧に説明している。				分かりやすいパンフレットを用いて丁寧に説明している。
入居時及び退居時には、家族や関係機関と連携をとり、スムーズに「移り住む」ことができるようにしていますか。						
21	27	入居者の決定過程を明確にするとともに、入居者についての事前のアセスメントを適切に行ない、職員間で十分な情報の共有を行った上で、入居者を迎え入れている。				事前にアセスメントを行い、情報の共有をして受け入れている。
22	28	退居は契約に基づいて行うとともに、その決定過程を明確にし、入居者や家族に十分な説明を行った上で、安心して退居先に移れるように支援している。				入居者や家族に十分に説明を行ない、安心して退居先に移れるよう支援している。
苦情や意見をサービスの質の向上に反映させる仕組みがありますか。						
23	31	相談や苦情を受け付ける窓口及び職員を明示し、苦情処理の手続きを明確に定めている。				受付窓口、担当者の明示、意見箱の設置など、苦情処理の手続きを明確にしている。
24	34	家族が、気がかりなこと、意見、希望を職員に気軽に伝えたり、相談したりできる雰囲気づくり(面会時の声かけや定期的な連絡、ケアカンファレンスへの参加要請や連絡ノートの作成等)を行っている。				月1回、利用料支払いをかねての来訪がある。その際、入居者の様子を伝えたり要望などを聴いたりしている。
(4)入居者の人権の尊重 事業運営にあたり、入居者の人権に最大限の配慮をしていますか。						
25	37	入居者を「人」として尊重するとともに、人権やプライバシーについて十分に配慮している。				人権やプライバシーに配慮した対応がなされている。

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能	改善すべき点等の特記事項
2 サービスの提供体制に関する事項 ケアカンファレンスを有効に活用していますか。						
26	40	ケアカンファレンスを定期的(毎月1回以上)に開催し、入居者に関わる問題をいろいろな観点で共有化し、検討している。				月2回、全職員でカンファレンスを行い、問題を共有し検討している。
27	41	職員の気づきや意見を考慮した介護計画を作っており、ケアカンファレンスを通じてすべての職員が計画の内容を知ることができる仕組みを作っている。				気づきや意見を反映した介護計画であり、ケアカンファレンスを通じて共有している。
28	42	ケアカンファレンスは、職員一人ひとりが入居者の処遇や業務のあり方についての意見を出せる雰囲気であり、そこで出されたアイデアを活かしている。				自由に意見を出せる雰囲気であり、出された意見を活かしている。
介護計画を適切に作成できる体制にしていますか。						
29	43	個々の認知症の状態とニーズを把握するためのアセスメントに基づいて入居者一人ひとりの特徴を踏まえた具体的な介護計画を作成している。				アセスメントに基づいて、1人ひとりにあった具体的な介護計画を作成している。
30	44	介護計画は、入居者や家族の意見、要望を採り入れて作成している。				面会時、家族の意見や要望を聞きながら作成している。
31	45	介護計画には到達目標を明示し、すべての職員が理解した上で、介護計画に添った介護サービスを提供するとともに、介護計画を必要に応じて見直している。				到達目標を明示計画に添ったサービスを提供している。3～6ヶ月毎の見直しや随時の見直しをしている。
すべての職員が、グループホームの理念に沿った態度で、サービスの提供をしていますか。						
32	46	職員側の決まりや都合で業務を進めていく態度ではなく、入居者が自分のペースを保ちながら自由に暮らせるようにしている。				個人のペースで自由に暮らせるよう支援している。

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能	改善すべき点等の特記事項
3 サービスの提供内容に関する事項						
(1)入居者の自立に配慮した支援						
入居者の“できる力”を維持、引き出すような支援をしていますか。						
33	52	諸活動をできるだけ自分一人で行えるように支援するとともに、できないところはさりげなく手助けするようにしている。				それぞれの状態に合わせ、声かけを多くしたり、できない所はさりげなく支援している。
34	53	入居者が介護される一方ではなく、活躍できる場面を作っている。(入居者の活動意欲を触発する物品の提供等)				入居者の得意なことを知り、活躍できる場を設定し援助している。配膳、台拭き、掃除、カレンダーの日めくり、洗濯物たたみなど活躍できる場面づくりをしている。
35	55	入居者が自分でお金を持つことの大切さを職員が分かっており、日常の金銭管理を本人が行えるよう、入居者一人ひとりの希望や力量に応じて支援している。				自己管理している人はいない。買い物での品物選びを、支払いなど、入居者の力量に応じて支援している。
心身の機能回復に向けた支援や、介護する際に特別な工夫を必要とする行動への対応を適切に行っていますか。						
36	57	認知症の身体面での特性(筋力低下、平行感覚の悪化、燕下機能の低下等)を考慮し、身体面での機能の維持・回復を目標とした支援を介護計画の中に位置づけ、職員の共通認識の下に、日常生活の中で無理なく取り組んでいる。				買い物で物を選んだり、支払いなど、入居者の力量に応じて支援している。
37	59	職員も入居者と同じ食事を一緒に食べながら、さりげなく食べこぼし等に対する支援をしている。				三食とも一緒に作り、側で見守りながら一緒に食事をしている。ゆっくり時間をかけて食事をする人には、気兼ねなく食べられるように、席の位置を配慮している。
口腔ケアは、適切に行っていますか。						
38	62	口の中の汚れや臭いが生じないように、口腔の清潔を保つ上で必要な支援を日常的に行っている。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症のチェック等)				毎食後、声かけをし口腔ケアを実施している。できないところを支援している。
39	63	歯ブラシや義歯などの清掃、保管について支援している。				自室で保管する人、職員が預かる人、その人の状況で支援している。定期的に消毒し、保管している。
排泄自立のための働きかけを行っていますか。						
40	65	おむつをできるかぎり使用しないで済むように、入居者一人ひとりの排泄のパターンやシグナルの把握に努め、声かけや誘導をし、トイレでの排泄を促している。				排尿チェック表を活用し、排泄パターンや、シグナルを把握しトイレに誘導し排泄を促している。
41	67	夜間にトイレ介助が必要な入居者に対し、トイレ誘導やおむつ交換を適切に行っている。				ポータブルトイレ、紙パンツ、トイレ誘導などその人の状態に合わせ支援を行なっている。

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能	改善すべき点等の特記事項
(2)入居者の個性に配慮した支援 食事内容は、入居者の状況に応じて工夫していますか。						
42	70	入居者一人ひとりの健康状態に合わせて調理の配慮を行うとともに、見た目で食欲をそそるような工夫をしている。(使用する食器にも配慮している。)				肉が苦手な人には魚料理にするなど嗜好に合わせた献立をしている。メニューにあった食器に盛り付けられ、食欲をそそるように工夫している。
43	71	燕下・咀嚼などの状態に配慮した食事が必要な場合には、特別な調理を行うことを伝えた上で、刻んだり、すり鉢で擦ったりしている。				個人の状況、希望に合わせ、お粥、とろみをつける等、個別対応している。
入浴は、入居者の希望や健康状態に応じて行っていますか。						
44	72	入居者一人ひとりの希望を尊重した上で、入浴方法や入浴時間について決定している。				入浴は毎日可能であり、10時～16時と決められているが、希望があればいつでも入浴できる。清潔の保持、安眠の目的で、夏場は毎夕食後足浴を行なっている。
45	73	入居者のペースに合わせて、ゆっくりくつろぎながら入浴ができるようにしている。				時間がゆったりと入れるよう支援している。
身だしなみやおしゃれについて、入居者の状況と環境に応じた支援をしていますか。						
46	77	入居者の希望により、地域の理美容院等の利用を支援している。				ボランティアによる訪問理美容の利用で支援している。地域や行きつけの理美容院での利用を支援している。
安眠や休息について、入居者の状況に応じた支援をしていますか。						
47	78	入居者一人ひとりの睡眠パターンを大切にしながら就寝、起床を見守るなどの支援をしている。				一人ひとりの睡眠パターンを把握し適切に支援をしている。
48	79	睡眠リズムに乱れがある時は、その原因・背景の把握や対応方法の検討を行い、そのリズムが回復するように支援している。				原因、背景を把握・検討し、リズムが回復するように支援している。
入居者同士の交流を深める適切な働きかけをしていますか。						
49	81	入居者一人ひとりの個性を踏まえ、入居者同士が仲良く気持ちよく、共同で生活を続けられるような雰囲気づくりを常に行っている。				ソファでテレビを見たり、食卓の椅子に座ったり、それぞれの場で、穏やかにくつろいだ様子が伺えた。
50	83	入居者同士のぶつかりあいを、その都度上手く解消するようにしている。				職員が間に入って、会話を変えたり距離を置くなどして、上手く解決している。

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能	改善すべき点等の特記事項
<p>(3)入居者の生活の質へ配慮した支援 入居者が、豊かな生活を送れるように支援をしていますか。</p>						
51	84	入居者一人ひとりの希望や特性、これまでの生活歴に応じて、楽しみや張り合いになる時間を日常的に持てるように支援している。				個々の希望や生活歴に応じて、楽しみや張り合いが持てるよう支援している。
52	86	ホーム内で入居者一人ひとりが楽しみごとや出番を見い出せるよう、場面づくり等の支援を行っている。(テレビ番組、週刊誌、園芸、食器洗い、掃除、洗濯物たたみ、小動物の世話、新聞取り等)				テレビ視聴や花、野菜作りなどの楽しみ事や食器洗い、食器拭き、掃除や洗濯物たたみなど、無理せず活躍できる場面づくりをしている。
<p>入居者が、外出する機会を確保していますか。</p>						
53	88	入居者がホームの中だけで過ごさずに、積極的に近所に出かけて楽しめるようにしている。(買い物、散歩、近隣訪問等)				朝夕の散歩、買い物、花見、夏祭り、みかん狩り、お寺参りなど外出の機会を作っている。
<p>(4)入居者の人格へ配慮した支援 入居者の誇りやプライバシーに配慮したサービスを提供していますか。</p>						
54	97	排泄の確認や誘導介助及び失禁の対応などは、人目につかないように行うなど、プライバシーを守るとともに、羞恥心に配慮してさりげなく支援している。				プライバシーに配慮し、さりげなく支援している。
55	99	着衣や履物の間違い等に対し、入居者の誇りを大切にしながら、さりげなくカバーしている。				さりげなくカバーしている。支援している。
<p>言葉づかいや態度に常に気を配っていますか。</p>						
56	100	入居者の心身の機能レベルにかかわらず、自尊心を傷つける言葉づかいをしていない。(入居者一人ひとりの違いの尊重、プライベートな場所での礼儀、入居者一人ひとりの能力に応じた質問方法、入居者が思っている「現実」を否定しない等)				入居者の自尊心を傷つけないよう、言葉づかいに配慮している。
57	101	あわただしい場面においても、職員の言葉かけや態度はゆったりしており、やさしい雰囲気ですべて接している。				ゆったりと優しい態度で接している。
58	102	生活していく上での自信を高めるような言葉かけや働きかけをしている。(活動の場面づくり、一緒に喜びあう、感謝の気持ちを示す等)				自信を高められるような言葉かけをしている。

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能	改善すべき点等の特記事項
抑制や拘束のないケアを実践していますか。						
59	103	身体拘束(フィジカルロック)は行わないということをすべての職員が正しく認識しており、そうした抑制や拘束をしていない。				職員は正しく認識しており、身体拘束をしていない。
60	104	入居者は自由な暮らしを支え、入居者や家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵をかけなくてもすむような取組をしている。(外出の察知、外出傾向の把握、近所の理解・協力の促進)				日中は玄関の出入りは自由であり、チャイムで察知し、一緒に出かける支援をしている。
61	105	言葉や薬による拘束(スピーチロックやドラッグロック)についても、すべての職員が正しく認識しており、常に気をつけている。				言葉や薬による拘束はしていない。
(5) 医学的管理及び健康へ配慮した支援 食事摂取や睡眠・排泄等の把握を通じて、入居者の健康管理を適切に行っていますか。						
62	106	入居者一人ひとりの摂取カロリーや水分摂取量、栄養バランスを一日を通じて把握し、記録している。				食事量、水分摂取量を記録し、おおよその栄養バランスを把握している。 ・栄養士による助言
63	113	服薬のチェック、薬歴管理を行い、一括手渡しではなく、服用ごとに配布するなど、漫然とした継続的与薬をしていない。				適切に服薬の管理を行い、薬は1人ずつ手渡しし、服薬を確認している。
64	114	服薬している薬剤の目的と副作用を職員が知っており、服薬と体調との関係を把握している。				薬の目的と副作用のファイルがあり、職員は把握している。
65	115	入居者一人ひとりに最適の与薬がされるように、必要な情報(形状、与薬方法、症状等)を医師や薬剤師にフィードバックしている。				必要な情報を記録に残し、医師・薬剤師にフィードバックしている。
医師や医療機関と十分な連携をとっていますか。						
66	116	定期的な健康診断(年1回以上)を行うとともに、健康状態によっては受診・往診などの適切な対応がとれるような体制を確立している。				受診、訪問診療が行なわれている。定期健康診断は受けていないが、協力医療機関で必要に応じて検査を受けている。 ・定期健康診断の検討
入居者の入院は家族と相談していますか。						
67	123	入院後の状況や変化について、主治医と絶えず連携を取りつつ、ホームへの復帰等に関して、入居者や家族とともに検討している。				医療機関と連携を取りながら、ホームへの復帰を家族と共に検討している。

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能	改善すべき点等の特記事項
4 施設環境に関する事項						
ホーム内は清潔で、気になる臭いはありませんか。						
68	125	ホーム内の清潔や衛生を保持している。(食品、布巾、包丁、まな板、冷蔵庫、洗濯機等)				マニュアルがあり、定期的に清掃・消毒をしている。チェック表を活用している。
69	127	気になる臭いや空気のおよみがないように、適宜、換気をしている。				適宜換気しており、気になる臭いはなかった。
入居者が安心して生活できるよう家庭的な生活空間づくりをしていますか。						
70	129	居室には、入居者が安心して過ごせるよう、使い慣れた家具や同じ様式の家具、これまで使っていた生活用品や装飾品等を持ち込むことができる。				ベットや家具、テレビ、写真、ぬいぐるみなど入居者の好みの物を持ち込み、入居者が安心して過ごせるようにしている。
71	130	共用の生活空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)がいずれも家庭的な雰囲気であり、調度、物品、装飾も入居者に親しみやすいものを採り入れている。				写真や作品の掲示、花が飾られ家庭的な雰囲気である。食堂に置かれている観葉植物に、入居者の方がスイカの種を蒔き芽が出ていた。どうなるかと楽しみにしておられる。
入居者の五感を大切にしたソフト面での配慮をしていますか。						
72	132	入居者が落ち着いて暮らせるように、時間帯やその場の状況に応じた音の大きさや明るさ等の調整に配慮している。				自然な明るさで、騒音もなく、落ち着いた雰囲気である。
73	133	冷暖房の温度調節は、冷やし過ぎや暖め過ぎがないように適切に行っている。				室温計もあり、温度調節は適切である。
入居者が混乱を招かないように、生活空間を整えていますか。						
74	135	見やすく、馴染みやすい時計やカレンダーを設置している。				見やすくわかりやすい時計やカレンダーが設置してある。
75	136	職員は、入居者一人ひとりがトイレや居室の場所が分かるかを把握しており、家庭的な雰囲気を保ちながら、場所の間違いや場所が分からないことを防ぐための配慮をしている。				居室入り口には名札の表示や自分の作品を飾り、トイレ、浴室にも大きな表示がしてある。
入居者が、安全に、できるだけ自立した生活を送ることができるような工夫をしていますか。						
76	138	浴槽・便座・流し台等は、必要に応じ自助具を取り付ける等、入居者が使いやすいように工夫している。				手すり、滑り止めマットなど使いやすいように工夫している。
77	139	入居者の移動に配慮した施設整備の工夫(要所へのすべり止め、手すりの設置等)がされている。				玄関のベンチ、要所の滑り止め、廊下の手すりの設置など、移動に配慮している。

外部	自己	項目	できている	要改善	評価不能		改善すべき点等の特記事項
5 家族との連携に関する事項 入居者の状況について、家族に対して情報提供をしていますか。							
78	141	家族に入居者の状況(暮らしぶりや日常の様子、健康状態、預かり金の出納明細等)を個別に定期的、具体的に伝えている。(ホーム便りの発行、手紙、写真の送付等)				月1回、ホーム便りを発行し、日常の様子を伝えている。また、毎月は支払いのため来訪することにより、来訪時に健康状態など伝えている。	
家族が自由に訪問できるようにしていますか。							
79	144	家族がいつでも自由に会いに来ることができ、ホーム内で他の入居者も含めて交流できたり、居心地よく過ごせるような雰囲気を作っている。				いつでも自由に面会ができ、居心地よく過ごせるように、配慮している。	
80	145	家族が会いに来たときは、職員がさりげなく入居者との間を取り持つように対応している。				さりげなく間を取り持ち、話しやすい雰囲気を作るなど、気を配っている。	
81	146	入居者や家族が家族の付き添いを希望したときは、居室への宿泊も含め適切に対応している。				希望があれば、宿泊できる体制ができている。	
6 地域との交流に関する事項 ホームが地域社会に溶け込むような運営をしていますか。							
82	152	地域の一員として、入居者も状況に応じ、町内会の活動などに参加している。				自治会には加入していないが、行事には参加している。ホーム主催の夏祭りや敬老会に地域の方々に声を掛けている。	自治会の加入と緊急時の協力体制確保の検討
実習生や研修生及び地域の学生を受け入れていますか。							
83	159	ホームの機能を、入居者のケアに配慮しつつ地域に開放している。(認知症の理解や関わり方についての相談対応・教室の開催、家族・ボランティア等の見学・研修の受け入れ等)				いつでも見学、相談対応、ボランティアや研修の受け入れをおこなっている。	
関係機関や周辺の諸施設と十分連携をとっていますか。							
84	160	市町村との連携(運営や入居者に関する相談等)が円滑にとれている。				運営推進会議をはじめ、入居者に関する相談など連携を取っている。	
85	162	入居者の生活の安定や広がりのために、周辺の諸施設から協力を得ることができるように、理解を深める働きかけをしている。(商店、福祉施設、警察、消防、文化教育施設等)				警察、消防署、公民館、商店など理解を深め、協力を得る働きかけをしている。	